茨城県のさらなる発展に向けて

県政蓮

茨城県工業技術センター

武者 也寸志センター長（58）

貿易収支の3月単月結果が2年9カ月ぶりに黒字転換、というニュースは円安という恩恵を差し引いても日本経済の大きな歯車が力強い方向に向いていると考えたい。しかし、大企業の復活を後押しする県内中小企業全体の伸長は依然として厳しいものがある。

ここ数年の国、県の補助金の採択を起点に

地方創生の基幹部隊として先導

積極的に競争力強化を目指す企業、今後挑もうとする企業に対応し従来の支援以上に「人財育成」の面でも支援を強化する。企業側からの人材受け入れや、センター職員が企業に出向いての現地実証など、限られたリソースの中での双方向の技術力強化を目指していきたい。また、経済産業省の補助金による機器整備により、成長産業4分野の一つである医療分野への中小企業参入などを支援する。一方、笠間陶芸大学校開校準備も進めている。このような活動を通して、いばらき地方創生の基幹部隊として先導していきたい。

茨城県開発公社

渡邊 一夫理事長（67）

1960年に設立して以来、工業団地の開発整備、茨城空港ビルの運営のほか、県民福祉にかかる宿泊施設などの管理運営を柱に事業を展開し、県行政を補完する機関として産業大県づくりに貢献してきた。

工業団地は、これまでに69カ所、約2600ヘクタールの工業用地を分譲してきた。引き続き、

ニーズに合った産業用地を開発

県内各地への投資、企業の事業活動や雇用の確保に貢献するべく、その時々のニーズに合った産業用地の開発に積極的に取り組んでいく。

茨城空港ビルは、春秋航空が週6便から週8便に増便された。引き続き利便性を高めていくとともに、本県のPRや地域振興に寄与していきたい。

国民宿舎「鵜の岬」と夏休み中にリニューアルする「いこいの村涸沼」は、多くの方々に満足していただけるよう魅力ある施設づくりに取り組んでいく。皆さまには引き続きご愛顧を賜りますようお願いいたします。

茨城県中小企業振興公社

今橋 裕麿専務理事（60）

多様化・複雑化する経営課題に対応し、質の高い中小企業支援を目指していく。本年度は、商談会開催、専門展示会出展およびビジネスコーディネーターなどによる「販路拡大支援」、いばらき産業大展開などの「総合相談支援」、知的財産権に関する「知財総合支援」の施策を中心に積極的に取り組んでいく。

また、新規事業である「いばらき中小企業

経営課題に対応 質の高い支援を

県創造基金事業による「各種助成支援」、ベンチャープラザおよびよろず支援拠点による経営・技術・創業・新事業支援を拡充するほか、中小企業の現場の改善等を行う能力を育成するために新たに「いばらき生産性向上人材育成スクール」を開講するなど、県内中小企業の支援に努めていく。

海外展開プロモート事業」では、輸出拡大支援員が海外バイヤーなどを訪問し、製品・商品等の売り込みやマッチングを実施するなど、従来の海外展開支援を拡充するほか、中小企業のリーダー候補者を対象に、生産

茨城県信用保証協会

川俣 勝慶会長（73）

県内経済情勢は、消費税増税の影響が徐々に薄れるなど緩やかな回復基調にあり、今後もこの流れが続くと思われる。一方、県内中小企業の経営環境は、原材料価格や人件費の高騰などによるコスト増加から、依然として厳しい状況にある。

このような中、当協会では、県内中小企業の事業再生・経営支援

県内中小企業にきめ細かい支援

の取り組みをより推進するため、本年度、経営支援部の下に、新たに経営支援課と経営相談グループを新設し、支援体制の強化を図った。今後、経営支援を必要とする中小企業者に対して、きめ細かい支援を実施していく。

このほか創業前の相談や、創業資金の支援、創業後のフォローアップなどを通じ創業支援にも積極的に取り組んでいく。また各種の保証制度の利用を推進し、中小企業者の資金繰りも積極的に支援していく。これらの取り組みを関係機関と連携して実施し、中小企業者・地域経済の発展に寄与していく。

つくば研究支援センター

矢口 喜一郎代表取締役社長（62）

企業の生産活動の持ち直しや雇用・所得環境の改善などにより、経済の好循環が生まれつつある一方で、地方ではその効果が十分に進展していない状況も見られる。

このような中で、地方への好循環拡大と地方創生を図るには、地域経済活性化の担い手である中小企業の成長や、産業の新陳代謝の

ベンチャー企業創出・育成支援

原動力となるベンチャー企業の創出・育成がこれまで以上に重要な鍵となっている。

当社はつくばに立地する産業支援機関として長年培ったベンチャー企業育成ノウハウを発揮し、その役割を果たすべく、新たな中期経営計画に「地域の期待に応えるビジネス・インキュベーターを目指して」をテーマに掲げ、企業支援に一層注力することとした。2015年度は起業家育成や技術系ベンチャー企業創出支援の充実を図るとともに、モノづくり中小企業の事業革新を一層促進し地域経済の活性化と地方創生に貢献していく。

ひたちなかテクノセンター

栗田 則夫代表取締役専務（64）

景気は、政府による金融・財政政策などの一体的な推進により緩やかな回復基調にあり雇用・所得環境が改善する中、今後も回復基調が継続していくと見込まれている。このような中、当社は地域中小企業の支援や地域産業の発展のために、多様なネットワークによる相乗効果を生かした事業を展開していく。

経営力強化支援 人材育成も対応

まず、東南アジアやヨーロッパへの海外展開を含めた販路拡大など、中小企業の経営力強化のために必要な支援に取り組み、学生のほか女性およびシニア層も対象とした企業の人材確保・定着支援にも力を入れていく。また、地域企業の技術力や営業力の向上を目指した各種セミナーや離職者への職業訓練を実施し、地域の人材育成ニーズに対応していく。さらに、研究開発室など賃貸事業については、入居企業に快適なオフィス環境を提供するとともに、より積極的な誘致活動を展開し、新規入居企業の獲得に努めていく。

日立地区産業支援センター

大原 隆史センター長（63）

人材育成、競争力強化、受注開拓支援、新製品・新技術開発支援などの多岐にわたる事業を継続しつつ、品質維持管理の向上を図るための講座をはじめ、ドイツBW州の企業群（クラスター）とのビジネス交流を図る地域間交流支援事業、大手企業が有する開放特許を活用した新製品開発事業などの新規事業をス

地域産業の持続的発展を目指す

タートさせ地域産業の持続的発展を目指した支援事業を実施する。

機械図面の見方や普通旋盤の操作などのモノづくりの基礎を学ぶ研修や、若手経営者・後継者が連携して経営課題を解決する「ひたち立志塾」を継続実施する。また、ISO内部品質監査員やKES自己評価員の養成、事業所を訪問して技能指導を行う実務アドバイザー派遣・出前研修事業など競争力の強化も図る。受注開拓支援では、国内外の展示会に参加して、販路開拓を図る。サポインやものづくり補助金の獲得も引き続き支援する。

茨城ポートオーソリティ

後藤 和正代表取締役副社長（64）

茨城港では震災復旧工事が完了し、船舶の入港隻数や取扱貨物量も震災前の状況を超えるまでに回復しており、昨年の常陸那珂港区における取扱貨物量は過去最高の約1000万トンを記録した。

北関東道が全線開通し圏央道の県内区間の開通が本年度予定されるなどアクセス向上による新たな企業立地や

円滑な港湾管理 良好なサービス

物流の活性化が期待されている。2015年度は、常陸那珂港区では中央埠頭（ふとう）地区の耐震強化岸壁の供用開始および新たな岸壁の整備が予定され、日立港区では天然ガスの需要増加に対応した日立液化天然ガス（LNG）基地が15年度末稼働を目標に建設が進められるなど、港湾機能の充実強化が見込まれている。

当社は、茨城港やひたちなか地区の整備の進展など、事業環境の変化を踏まえ、利用者ニーズを的確に把握し、身近で頼りになるパートナーとして、円滑な港湾管理の運営や良好な港湾サービスの提供に努める。

鹿島埠頭

加藤木 高夫代表取締役社長（60）

鹿島港は石油化学、鉄鋼、飼料などの企業群が立地する国内最大級のコンビナートの海上輸送基地として、近年では貨物取扱量が年間6000万トンを超える高い水準で推移し、鹿島臨海工業地帯の重要な役割を担っている。2015年度も引き続き南防波堤の延伸が予定されており港湾整備のさらなる拡充が

港湾整備を拡充 経済発展に貢献

図られてきている。

当社の主力事業である引き船業では、近年の船舶の大型化や朝晩の入出港の過密化に対応するため、15年度新たに4000馬力を有する防災型引き船を増隻就航させ、鹿島港をはじめ茨城港における入出港船舶の安全確保に努めるとともに、茨城県沿岸の海上災害等有事における支援にも積極的に取り組んでいく。また港湾情勢を取り巻く環境や、企業の再編・合理化の進展などを背景にした顧客ニーズの的確な把握に努め、安全で質の高い港湾サービスの提供を通して、地域経済の発展に貢献していく。

日立埠頭

岩熊 省三取締役社長（59）

茨城港は、国ならびに茨城県の尽力により東日本大震災から復興を遂げ、さらなる港勢拡大に向けた整備を進めている。

日立港区では液化天然ガス（LNG）基地の建設が佳境を迎え、2015年秋には試運転、16年4月には営業運転開始が予定されている。また、第3埠頭の新設埋め立て工事も順調に進み、18年度の供用開始が見えてきた。

常陸那珂港区では中央埠頭の岸壁工事が進展中で16年度の供用開始と、新たな自動車メーカーの進出が期待され、茨城港も大きな変化を遂げようとしている。

このような状況の中、当社は4月に日立ポートサービスと合併した。両社の特性と機能を十分に発揮し、茨城港発展のため新たな顧客獲得・貨物集荷に尽力するとともに、従来から取り組んでいる「地球にやさしい総合物流サービスの提供」を進めていく。

合併機に新たな顧客獲得に尽力

茨城県観光物産協会

後藤 四朗専務理事（60）

2014年の本県への観光入り込み客数は5000万人を超え、県北臨海部を除き、回復に向かっている。また、ゴールデンウイークの観光客も、期間中の好天や上野東京ラインの開業などもあり過去最高の人出となった。このような数字をもたらす背景には、東日本大震災以降における各市町村や観光施設

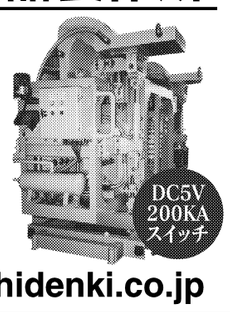
事業者等と連携 誘客さらに推進

の集客に向けたイベントへの取り組みや、積極的な広報活動が大きな原動力となったと考えられる。

協会としては、今後とも市町村や観光事業者等と連携を強化し、誘客対策に取り組んでいく。特に、1300万人を超えた訪日外国人旅行者について、本県への取り込みを図るべく、インバウンドに力を入れていく。

物販については、県内外での物産展やアンテナショップでの売上高が毎年10パーセントを超えて増加しているところであり、15年度はさらに、インターネット販売を拡充し、県産品の販路拡大に取り組む。

ソフトウェアのオーダーメイドならお任せ下さい！
創業30年を越えた実績とノウハウでお応えします！
PENGUIN SYSTEM® ペンギン システム 株式会社
難易度の高いソフトこそ当社の出番です！まずはご相談下さい。
〒305-0047 茨城県つくば市千現2-1-6 つくば研究支援センター CB10
http://www.penguins.co.jp　E-mail: customer@penguins.co.jp　TEL: 029-846-6671

50年の信頼と実績、挑戦するメーカー
株式会社 高橋電器製作所
●大電流短絡開閉器
●鮮魚用自動定量器
●他、各種省力・省人化機器 設計・製作


〒317-0054
茨城県日立市本宮町1-1-11
TEL.0294-21-5331
FAX.0294-23-3428
http://www.takahashidenki.co.jp

TOSO　カーテンレール ブラインド　製造・販売
インテリア業界初CFP認定第1号
トーソー株式会社　http://www.toso.co.jp
本社 〒104-0033 東京都中央区新川1-4-9　TEL.03-3552-1211　FAX.03-3552-1009
つくば 〒303-2494 つくばみらい市小絹551　事業場 TEL.029-752-2111　FAX.029-752-4518

夢　ふくらむ　かなえる　いばらきの中小企業をサポート！
茨城県信用保証協会
水戸市桜川2丁目2番35号　TEL 029-224-7811
http://www.icgc.or.jp

各種研削盤用 砥石フランジ
株式会社 稲見精密
http://www.inamism.co.jp
本社工場 〒308-0001 茨城県筑西市樋口774-3　TEL 0296-25-0892　FAX 0296-25-0827

SUNYOU
卓上プラズマエッチング装置　2015年4月販売開始
●配線露出工程を1/100に短縮
●毎分10μmの高速エッチング
●申請不要の最大出力50W型RF電源

☆半導体欠陥検査のための配線露出における前処理工程を大幅短縮が可能になりました。
株式会社 三友製作所 テクノセンタ
〒319-1225 茨城県日立市石名坂町2-43-4
TEL 0294-33-9931　FAX 0294-33-9932
URL http://www.sunyou-ss.co.jp
E-mail info-sales@sunyou-ss.co.jp

コロナマルチグレーティング マイクロプレートリーダ
SH-9000Lab　3年保証
■グレーティング スペクトル高速スキャン
■モジュール式 蛍光/時間分解蛍光/発光/吸光から選択、購入後の追加可
■プロトコル組合わせ機能

コロナ電気株式会社　http://www.corona-el.co.jp/
〒312-0052　茨城県ひたちなか市東石川3517　電話 029-273-6114

わたしたちは
環境にやさしい、人とエネルギーとの
新しい関係を築いています。
We a new relation between an environment friendly person and energy built

自家発電装置の
株式会社 東京電機
TOKYO ELECTRIC INDUSTRY CO.,LTD.
http://www.tokyodenki.co.jp

電子回路の試作品から量産品まで承ります。

《1台限りの特注品を大歓迎します》
得意な分野は
✓パルスモータコントローラ
✓高速カウンタ・タイマ
✓マイコン応用装置
✓FPGA(DSP)応用装置
✓アナログ・ディジタル回路
✓LAN応用計測・制御装置
APPLICATION OF ELECTRONIC DEVICES
TSUJICON　ツジ電子株式会社
X線回折データ収集ソフト"SPEC"の日本代理店
本　社／〒300-0013 茨城県土浦市神立町3739
TEL.029-832-3031(代) FAX.029-832-2662
[ISO9001/ISO14001認証取得]

↑本社外観
詳しくはホームページをご覧ください。▶ http://www.tsujicon.jp/

まったく新しい自動化テクノロジーの概念を創造する。
今までの不可能を、「可能」へ。困難な手作業を、「自動化」へ。
〈グリス付Oリング用パーツフィーダー〉

製品特長
●グリス、シリコンオイル等を塗布した状態での1個出しが可能。
●ホッパーには、大量投入(1,000～2,000個以上)が可能で、長時間の安定供給が可能。
●ホッパーは、残量が目視出来る透明ケースとなっている。
●部品供給スピードは、60～100個/分と、高速使用も可能。
●ホッパー、1個分離部、直進フィーダーが一体化され非常にコンパクト。
●対象のOリングは、φ3～30まで、3機種により様々なニーズに対応。
●特許出願中。
独自の技術で未来を拓く
株式会社 TMP（ティー・エム・ピー）
〒319-1234 茨城県日立市大和田町645番地
お問い合わせ　TEL.0294-52-6981（代）　FAX.0294-52-3640
E-mail：info@tmp-jp.com
詳しくは➡http://www.tmp-jp.com/
産業ロボット・計測システム・パーツフィーダー・自動ドア

短納期対応の総合試作部品メーカー
《主な取扱品》精密板金・溶接・プレス少量生産(カメラ/自動車/コネクターなど)
マシニングセンター・NC複合旋盤・レーザパンチ加工・ワイヤ放電加工・設計・組立
株式会社 西野精器製作所
〒311-1251　茨城県ひたちなか市山崎56
TEL：029-265-9595　FAX：029-265-9090
Mail：info@nisinoseiki.com　http://www.nisinoseiki.com

茨城いすゞ自動車株式会社
〒310-0063　茨城県水戸市五軒町1丁目2番5号
TEL 029-225-1211　Fax 029-225-1733